

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	卒業研究					授業形態	授業形態	講義			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員	実務経験教員	アクティブ ラーニング	○	ICT活 用	
担当教員名	若宮 邦彦										
授業概要	<p>本授業は卒業論文執筆のためにゼミ生各自が研究する目標や具体的なテーマを定め、その関心を学問的な問題意識へと発展させるために、先行研究や文献を紹介、解説方法を学ぶことを目的とします。 また、フィールドワークによる実践研究を行ったり、各種の調査を行い、大学での学びの総括としての卒業研究を目指します。</p>										
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠ、Ⅱの履修が望ましい。										
授業の進め方 と方法	<p>学生自身が子ども教育専門ゼミⅠ、Ⅱで学んだテーマについて、より深く考察するための探究能力を高めるためのアクティブラーニング型授業を展開する。論文執筆のための研究手法を学び、フィールドワークを通じ、理論知を実践知に関連付けながら理解します。 ソーシャルワークにおけるグループワークの技法を活用し、ゼミ生のグループダイナミクスを活用し相互作用を高める取り組みを実施します。</p>										
授業計画 【第1回】	1. 研究テーマの設定と先行研究・文献検索。 各自の問題意識を研究の視座へと発展させ、卒業研究のテーマ設定をします。										
授業計画 【第2回】	2. 先行研究・文献の内容の報告。 各ゼミ生の研究テーマに応じた先行研究・文献のサマリーを報告します。										
授業計画 【第3回】	3. 各自のテーマに関する検討会。 各ゼミ生が設定した研究テーマの概要も報告と意見交換をします。										
授業計画 【第4回】	4. 研究のプランニングとスケジュール表の作成。 各自が設定した研究テーマに関連する論文・資料・著書等を収集しレビューをしながら総論と各論の整理、今後の研究計画を立案します。										
授業計画 【第5回】	5. 研究についての個別指導①。 ゼミ生の研究テーマテーマに関連する論文・著書・法制度に関連する資料を収集し、研究目的、方法等について整理します。										
授業計画 【第6回】	6. 研究についての個別指導②。 ゼミ生が設定したテーマに関連する論文・著書・先行研究等の資料を収集し研究の概要、総論と各論の整理をします。										
授業計画 【第7回】	7. 研究についての個別指導③。 ゼミ生が設定したテーマに関連する論文・著書・先行研究等の資料を収集し研究の概要、総論と各論の整理をします。										
授業計画 【第8回】	8. 研究方法の検討と進捗状況の確認①。 各自の研究方法に基づき、準備と分析に関する手法の指導を行います。										
授業計画 【第9回】	9. 研究方法の検討と進捗状況の確認②。 各自の研究方法に基づき、準備と分析に関する手法の指導を行います。										
授業計画 【第10回】	10. 研究方法の検討と進捗状況の確認③。 各自の研究方法に基づき、準備と分析に関する手法の指導を行います。										

授業計画【第11回】	11. 各自による中間報告・文献研究のまとめ①。 主に文献レビューの結果を中心に報告、個別指導を行います。
授業計画【第12回】	12. 各自による中間報告・文献研究のまとめ②。 文献レビューしたものをレポートにしゼミ内で発表し、質疑応答やディスカッションをし学びを深めます。
授業計画【第13回】	13. 各自による中間報告・文献研究のまとめ③。 文献レビューしたものをレポートにしゼミ内で発表し、質疑応答やディスカッションをし学びを深めます。
授業計画【第14回】	14. 研究の進捗状況報告・個別指導① 各ゼミ生の研究テーマに応じた分析から仮説検証、研究成果についての確認を行います。
授業計画【第15回】	15. 研究の進捗状況報告・個別指導② 各ゼミ生の研究テーマに応じた分析から仮説検証、研究成果を共有し、質疑、議論を通してブラッシュアップを図ります。
授業計画【第16回】	16. 研究の進捗状況報告・個別指導③ 各ゼミ生の研究テーマに応じた分析から仮説検証、研究成果を共有し、質疑、議論を通してブラッシュアップを図ります。
授業計画【第17回】	17. 進捗状況の確認とスケジュールの確認①。 各ゼミ生の卒業論文の添削をしながら個別の研究テーマに応じた修正、調査データの分析、プレゼンテーションの方法等を学びます。
授業計画【第18回】	18. 進捗状況の確認とスケジュールの確認②。 各ゼミ生の卒業論文の添削をしながら個別の研究テーマに応じた修正、調査データの分析、プレゼンテーションの方法等を学びます。
授業計画【第19回】	19. 進捗状況の確認とスケジュールの確認③。 各ゼミ生の卒業論文の添削をしながら個別の研究テーマに応じた修正、調査データの分析、プレゼンテーションの方法等を学びます。
授業計画【第20回】	20. 研究計画の修正及び検討①。 文献研究、調査研究の分析進捗状況をふまえて卒業研究発表会に向けての調整を図ります。
授業計画【第21回】	21. 研究計画の修正及び検討②。 文献研究、調査研究の分析進捗状況をふまえて卒業研究発表会に向けての調整を図ります。
授業計画【第22回】	22. 研究計画の修正及び検討③。 文献研究、調査研究の分析進捗状況をふまえて卒業研究発表会に向けての調整を図ります。
授業計画【第23回】	23. プレゼンテーション方法の検討と決定①。 卒業研究テーマに応じた効果的なプレゼンテーション資料の作成、方法を学びます。
授業計画【第24回】	24. プレゼンテーション方法の検討と決定②。 卒業研究テーマに応じた効果的なプレゼンテーション資料の作成、方法を学びます。
授業計画【第25回】	25. プレゼンテーション方法の検討と決定③。 卒業研究テーマに応じた効果的なプレゼンテーション資料の作成、方法を学びます。
授業計画【第26回】	26. プレゼンテーションに向けての抄録・発表資料の作成① 各自のテーマに沿った抄録、パワーポイントデータの作成。
授業計画【第27回】	27. プレゼンテーションに向けての抄録・発表資料の作成② 各自のテーマに沿った抄録、パワーポイントデータの作成。副査の先生への抄録提出。

授業計画【第28回】	28. 卒業審査会に向けての準備①。 模擬発表会(リハーサル)を開催し、質疑応答をふまえ内容の精査を実施します。
授業計画【第29回】	29. 卒業審査会に向けての準備②。 模擬発表会(リハーサル)を開催し、質疑応答をふまえ内容の精査を実施する。発表当日に向けた想定問答集を作成します。
授業計画【第30回】	15. 卒業研究発表会。 プレゼンテーションを行い副査の先生、聴講生からの質疑や助言により、課題を明確化し、加筆修正します。
授業の到達目標	1. 学生の問題意識について能動的、科目横断的な学習能力を習得する。社会福祉学を主とした学術的思考過程をふまえたリテラシー能力の向上。【知識・理解の獲得】 2. 児童福祉に関する現代的課題について自らの問題意識を明確化するとともに問題等の現状分析・検討を行い卒業研究を完成させる。【生涯学習力の育成】
学位授与の方針(DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	授業中に次の授業内容(予習箇所)を提示する。各自が研究する目標や具体的なテーマを定め、大学での学びの総括としての卒業研究を目指すために、ゼミ生間でのサブ・ゼミを指導毎に20分程度実施すること。
授業時間外学習【復習】	ゼミ中に議論したり学んだ内容について各ゼミ生が研究したいテーマに関する文献やデータを収集し、卒業研究のためのレポートを発表し、討論を行い、専門的知識を深めるための復習をゼミ生間でのサブ・ゼミを指導毎に20分程度実施すること。
課題に対するフィードバック	レポート、プレゼンテーションは評価後、返却及び解説をします。
評価方法・基準	卒業研究レポート提出70点、ワークショップ等20点、学習意欲30点、
テキスト	なし
参考書	『よくわかる卒論の書き方』第2版 白井利明・高橋一郎編著 ミネルヴァ書房
備考	